

# トランプ：もし私が大統領選に勝てば、子ども取引関係者を死刑にする

——聖なる戦争が始まった

<https://www.infowars.com/posts/friday-live-theres-a-war-on-for-your-mind-find-out-how-theyre-trying-to-control-you/>

War Room/ Infowars.com

July 21, 2023

⇒人間改造 (transhumanist) グローバリストは、あなたが想像できる（そして多くの人が想像できない）あらゆる方面で、人類の絶滅を確実にするために戦争を開始した。

## 人間取引、マインドコントロール、および CIA

<https://www.infowars.com/posts/human-trafficking-mind-control-and-the-cia/>

Greg Reese/ Banned.video 特別報告

July 21, 2023

⇒もし我々がこれを終わらせようと思うなら、この病気に勇気をもって直面する必要がある。

1989年、フロリダの Tallahassee 警察が、ある匿名の密告電話を受け取り、6人の栄養不良の子どもが公共の公園で、虫に咬まれ引っかき傷に覆われた状態で、身なりのよい2人の大人に付き添われているのを発見した。

この2人の男は、州全体にわたる、子ども虐待と、子ども取引の嫌疑をかけられ逮捕された。そしてそこから、アメリカ関税局、ワシントン首都警察局、それに FBI のすべてが巻き込まれていった。

逮捕されたこの男たちは、多重のニセ身分証明書を持ち、「ファインダーズ」の名で知られるグループのメンバーだった。ファインダーズは、ワシントン DC 領域に多くの資産をも

っていた。これらの資産を調査した結果、子どもポルノの証拠と、「3人の子どもと3人の白衣の男たちが2匹のヤギを解体している」写真（注、食用ではない）が見つかったと言われる。

子どもたちの話によると、そこは厳しい学習の環境で、Game Caller と呼ばれる男があらゆる者たちを管理している。そしてライトバンの中において、コンピューターで大人たちに話しているという。彼らの遊ぶ遊戯の1つは、地方の新聞広告に出ている、ベビーシッターや家庭教師や、その他何でも、ある家族の家に入り込めるような注文に応じることで、彼らはそこから、この人たちの習慣、人物、職業などについて、可能な限り多くの情報を集めているという。

このファインダーズは、「サタンのカルト集団」とレッテルを貼られ、メディアはその調査が終了するまで、たっぷり一週間も、センセーショナルにそれを書き立てた。言われているところでは、その子供たちの母たちは、ファインダーズのメンバーで、あの2人の男は、子どもたちを連れ去る十分な合意を、両親たちから得ていた。メディアの物語はそこで、この自作のセンセーショナルな話を、自ら非難した。この話全体が信じられないデマであり、ファインダーズとは、無害な1960年代のヒッピーの集団だった。

数年後、米関税局の特別係官 Ramon J. Martinez が、この問題への関心を蒸し返し始めた。マルチネスの主張によると、いろんな証拠が存在して、子ども取引の意図、中国大使館を通じて香港から子供が注文されたこと、ファインダーズの女性メンバーを妊娠させる指南、マインドコントロールを扱う参考書調達、テロリストの戦争戦略、などがその一部だった。

マルチネスは、その証拠を閲覧するあらゆる試みが妨害されたと言った。そして最後には、首都警察局の1人のメンバーによって、ファインダーズはCIAの保護の下に入っており、CIAはそれを「内部問題」だとして法的な扱いを主張し、すべての訴訟に「秘密」のラベルを貼らせていたことが判明した。

ファインダーズの指導者である Marion Pettie は、CIAへ潜入したことを自慢していた。彼の妻 Isabelle はCIAに勤めており、彼らの息子は、CIAの経営する「エアー・アメリカ」で働いていると言った。ファインダーズ・メンバーのパスポートから、北朝鮮、北ベトナム、ロシアといった場所への旅行ビザが、すべて米國務省によって、認められていることがわかった。

この再び表面化した証拠は、人々の怒りを引き起こし調査が行われた。司法省は、CIAが、スパイを雇用して訓練するための、共同体によって経営される「偽装会社」だったという

主張を、調査し始めた。しかし彼らの調査は、いかなる CIA の干渉の証拠もなく、「ファインダーズ」の犯罪的活動の証拠もないという、評決によって終わった。

この全く同じ時期に、McMartin 予備校スキャンダルが起これ、数百人の親たちが、カリフォルニア州マンハッタン・ビーチのある予備学校で、**彼らの子どもたちがサタンの性的虐待を受けていた**と通報した。

これは普通に起こっていることのように思われる。アメリカの最大のチェーン予備学校「キンダーケア」は、Henry Kravis が所有者だが、彼は元 CIA 所長のジョージ・ブッシュの親しい仲間だった。

前クリントン財団の官吏だった Joel Getz は、中国で、巨大な幼稚園チェーン施設を営んでいたが、そこでは数人の親たちが、**彼らの子どもたちが性的な被害を受けた**と告発した。

CIA と彼らのパートナー集団が、メディア、ハリウッド、世界規模の麻薬取引を営んでいるように、彼らはまた奴隷取引をも行っている。そしてこれらは悪い病気の徴候ではあるが、我々がもしこれをやめようと思うなら、逃げることなくこの病気に直面しなければならない。

## マッカーシー下院議長が 1 月 6 日事件について：私はトランプが犯罪者とは認めない

<https://www.infowars.com/posts/mccarthy-defends-trump-over-january-6-dont-see-how-he-could-be-found-criminally-responsible/>

Breitbart

July 20, 2023

米下院議長 Kevin McCarthy (共、カリフォルニア) は、法務省が、2021 年 1 月 6 日の議事堂の暴動で、トランプ前大統領の行動を犯罪と見なそうとしている報道について、トランプ擁護の姿勢を示した。

水曜日の記者会見で、米下院議長は、前大統領を 1 月 6 日の事件について、犯罪者と考える何の理由も見当たらないと言った。

「私は彼を、どうして犯罪者とみなすことができるかわからない」と、マッカーシーは言った。「彼がどんな犯罪活動をしたのか？ 彼は人々に対し冷静に振舞うように言ったのだ。」・・・以下、略

### [訳者 Greatchain 注]

まず、この最後のマッカーシー下院議長の発言から考えたい。彼は無理を通す形で議長に就任したので、当然、反トランプの立場を貫くと考えられた。しかし、現在、トランプ擁護の立場を明らかにしている。その意味は小さくはない。なぜなら、狂気の現民主党陣営は、アレックス・ジョーンズによれば、トランプ暗殺の可能性を十分もっているからだ。これによって、それがなくなったとは言えないが、下院議長の発言は大きいと思われる。

そこで冒頭のトランプ前大統領の発言に注意したい。これは次の記事「人間取引、インドコントロール、および CIA」からわかる通り、誰かが、このように決然と発言する必要のあったものである。したがってトランプは、危険を覚悟で発言している。

そこでわが国の、主流メディアの方々と政府の方々に、再度、お尋ねしたい――。まずこの人々は、口には出さないが、トランプ氏が暗殺か、暗殺のようなやり方で、消えてほしいと思っているはずである。つまりバイデンが勝たなければ困るはずである。しかしその願いが叶わなかった場合には、どうするつもりか？

トランプと反トランプ側（バイデン側）で今起こっているのは、歴然と戦争である。たった今見た Infowars のニュースでは、「聖戦」Holy War を唱えて、ますます多くのアメリカ人が結束しつつある。当然の成り行きであろう。

「これは政治的な対立で、政治に対立があるのは当然だ」と言う人々はいだらう。しかしはっきり言っておこう。これは政治的対立でない。道徳的対立、善と悪の対立である。あなた方 CIA に言われて報道する人々と、それに騙される一般の日本人は、善か悪のどちらかを自分で選ばなければならない。どちらかを選ぶ機会を与えられねばならない。そしてその選択のためには、今まで隠されていたことが、明るみに出てこなければならない。その機会の一つが、このやや長い、驚くべき暴露記事である。

特に CIA とは何であるか、今まで知らなかった人は、これによって勉強していただきたい。我々の読まされている新聞記事や、聞かされているニュース報道は、CIA（アメリカ中央情報局）という恐ろしい意図をもつ、犯罪機関によって認可されたものである。そのことがよくわかるように書かれている。